

初級学習者へ寄り添える 英和辞典を目指して



イラスト：中畝弘子

中畝 繁

■はじめに

私が現場で日ごろ接している生徒は紙の辞書が苦手です。「辞書って何か難しそうで、取っつきづらい」という具合に。そこでスマホを常時携行している生徒たちにも手に取ってもらえて、中をのぞいてもらえるよう、多くの工夫を盛り込みました。英語の持つ面白さ、不思議さを特に初級学習者にわかりやすく感じ取ってもらえるように、『ベーシックジーニアス英和辞典』は、よりアクセスしやすい第2版 (BG2) に思い切って変身しました。以下に具体例で紹介させていただきます。

■最重要語 (* 4つ) にイラスト付き特設ページ

「ベーシック単語ボード」

見出し語の入り口での「ツカミ」の機能を担います。大まかに、その語の大事な特徴をまず掴んでもらえるはずです。最初にイラスト入りの「重要な意味」、続いて「他の重要な意味」、最後に頻度の高い「よく使う表現」という構成です。詳細は内容見本等をご参照願います。



■間違えやすい語には「ここに注目！」コラム

生徒は日本語訳1つを英単語にくっつけて記憶しています。その訳語が似通っていると英語の方が混乱してきます。たとえば「ほとんど」で記憶

される almost, most などです。以下は almost の項でのコラム「ここに注目！」の記述です。

注意! 「ほとんど」はいつも almost?

「ほとんど」を英語で表すときには注意しましょう。「ほとんどの子供」のように数や量について「ほとんど」という場合は、most children のように most を使うか、almost all (the) children (ほとんど全ての子供) のように all の前に almost をつけて使います。

× Almost children like curry and rice.

○ Almost all children like curry and rice.

ほとんどの子供はカレーライスが好きだ。

○ Most children like curry and rice.

(訳は上と同じ)

従来の非文情報 (×だけ) を BG2用 に ○× でさらにわかりやすくしました。このような記述に接することで、生徒はその語の弁別の特徴を自力でとらえられるようになります。ご指導していただき各先生方が、ご自身で「発見」していただき、その項目に、たとえば付箋を貼っていただく。そして「ほら、ここを読んでご覧」と困っている生徒を「気づき」へと導いていただけます。そして結果として「実戦」での応用も見込めます。以下はセンター試験の問題 (2010年追試) です。正解は②です。

our company employees have started to use public transportation because of the increasing price of gasoline.

- ① Almost ② Almost all of ③ Most
④ Most of the

■イラストを駆使した「使い分け」

「あっ、そうか、わかった！」は大事です。短めの解説と説得力あるイラストのコラボで生徒に直感的な「ワカル感」を提供しています。back項, draw項から以下にご紹介します。

使い分け ▶
in the back of A と behind A
in the back of the bus がバスの中の後ろ(図 ㉔)であるのに対し、バスの後ろ(図 ㉕)は behind the bus を使う:



㉔ He is sitting in the back of the bus. 彼はバスの後ろの席に座っている。
㉕ He is behind the bus. 彼はバスの後ろにいる。

back

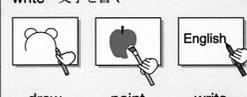
■身近な語を「ピクチャー・ディクショナリー」でゲット!

『ジーニアス英和辞典 第5版』でもご好評をいただいた、「ピクチャー・ディクショナリー」をより分かりやすく、巻頭にカラーで29ページ分付けました(「ピクチャー・ディクショナリー」の詳細は、15ページの記事をご覧ください)。

■辞書内の情報リンクで、なるほどね

以下で左にあがっているのは put 項の句動詞 put 「A on [on A] 部分です。「使い方」に「→ wear **使い分け ▶**」とあります。右のイメージは参照先の関連語 wear 項の部分です。セットで理解の方がわかりやすいものは、このように情報をリンクしやすくしてあります。ここでもイラストが理解を促進してくれます(また、「動詞+副詞辞」タイプの句動詞につきましては本体巻頭にあります「この辞書の使い方」の「9 成句・句動詞」の項をご参照願います)。

使い分け ▶ 「描く」、「書く」
draw ペンや鉛筆を用いて線で絵を描く
paint 絵の具を用いて色を塗って絵を描く
write 文字を書く



draw paint write

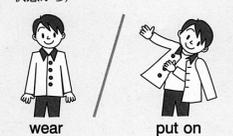
draw

使い方 ▶ (1) put 「A on [on A] は「身につける」という動作を表す。wear, have on は「身につけている」という状態を表す。→ wear **使い分け ▶**
(2) put 「A on [on A] はほかに以下のような名詞と共に用いて「身につける」動作全般に用いる: hat (帽子をかぶる), shoes (靴をはく), ring (指輪をはめる), makeup (化粧をする)。



put on

使い分け ▶ wear と put on
wear 身につけている(すでに身につけた状態にいる)
put on 身につける(身につけていない状態から)



wear put on

・Put on your jacket at once. すぐにジャケットを着なさい。◆ Wear your jacket at once. とはいえない。

wear

■ちょっと一休み「Quiz!」

The more accessible, the more fun! というノリで以下のようなクイズも入れてみました。答えは各ページの欄外にあります。

Quiz!

[ことわざ] An () a day keeps the doctor away.
()には食べ物が入ります。次のうちのどれでしょうか。

- egg
- apple
- orange

Quiz!

夏の風物詩である「花火」は英語でなんと言いますか?

- fire flowers
- flower fires
- firearts
- fireworks



■まとめ

生徒に接していて一番感じることは「この子を自立した active learner にしてあげたいな」ということです。自分で課題を探し出し、直面する問題を、工夫して自力で解決する生徒のことでしょうか。生徒がひとりぼっちで英語を自学する時の相棒は、これまでも、そしてこれから先も英和辞典です。彼らが「軽い扉」を気楽に押して入っていける、学習者に寄り添う英和を、ここにお届けいたします。

(なかうね しげる・埼玉県立本庄高等学校教諭)